

指導者用資料

授業：職業社会学 1

### 1. 授業目的

職業は人々にとって、社会にとってどのような意味を持っているのかを理解する。また、女性が働く社会構造についてジェンダーの視点から考える。

### 2. プログラム案 (各回 100 分×4 回分)

回数、テーマ	内容
(1) ロールモデルをもとう	文献(羽田野慶子 2014「ロールモデルをもとう」岩上真珠・大槻奈巳編著『大学生のためのキャリアデザイン入門』有斐閣)を用いて、ロールモデルを持つことの意義を考える機会とする。学生はこの文献をよみ、課題に答える形でロールモデルについて学ぶ。
(2) キャリアモデルの話	20代3名のキャリアモデルの話をしき(オンライン・オンデマンド)、大学で学んだことと現在の仕事、入社して大変だったこと、仕事の意義、自分なりのキャリアのありかた、生きることの意味などを考える機会をする。
(3) 働いている人へのインタビューの実施 (学生が次回までに各自実施一冬休みに実施する)	30歳以上の働いている社会人に対して、インタビューを実施し、主に職業的キャリア形成についてしき、(具体的には、日本的雇用システムの実際、仕事内容、仕事のやりがい、困難を乗り越え方、WLB、今後のキャリアのあり方など)、社会の変化や企業での働き方の変化のなかで、どのようにキャリア形成してきたのかその特徴を分析する。 第一回の「ロールモデルをもとう」で学んだ「キャリア年表」を作成し、分析の際に用いる。
(4) レポートの作成：働くことの比較分析	3名のキャリアモデルと自分のインタビュー対象者のキャリア形成について比較分析する。働くことを切り口にして、自分がどんな人生を歩むかを考える機会とする。

### 3. 各回の内容について

#### (1) 第1回「ルールモデルをもとう」

資料：羽田野慶子 2014「ロールモデルをもとう」岩上真珠・大槻奈巳編著『大学生のためのキャリアデザイン入門』有斐閣

- ・指定の資料をよみ、ロールモデルの意義について考える。
- ・課題に答えるなかで、ロールモデルの意義について確認する。

#### (2) 第2回「キャリアモデルの話」

- ・20代3名の話+ディスカッション（オンライン・オンデマンド）
- ・20代3名の方の話から、大学で学んだことと現在の仕事、入社して大変だったことなどを考える機会をする。

（3）第3回 働いている人へのインタビューの実施(学生が次回までに各自実施する一冬休みに実施する)

30歳以上の働いている方にインタビューを行う。男女どちらでも可。インタビュー対象者の「キャリア年表」を作成する。

① 主な質問内容

- ・仕事の内容
- ・雇用形態について（日本的雇用システムとの関連について）
- ・なぜその仕事に就いたのか
- ・その仕事につくまでの経歴
- ・その仕事の好きなどころ、やりがい
- ・その仕事の大変などころ
- ・その仕事の特徴
- ・仕事における転機、困難の乗り越え方
- ・その仕事を行う人へのアドバイス
- ・今後のキャリアのあり方について

\*インタビューメモを次回の授業に持参する

（4）第4回 仕事やキャリア形成の比較分析

キャリアモデル3名と自分が実施したインタビュー対象者の仕事内容やキャリア形成を比較する。

- ・雇用形態（正規非正規）自営か雇用者か、転職の有無、家族の状況、性別、仕事の内容（人を対象にする仕事かそうでないかなど）などを切り口に比較する。
- ・障害があった場合どのように乗り越えたのかを比較する。
- ・（組織のなかや自分自身で）どのようにキャリアを形成したのかを比較する。
- ・インタビューの共有、比較をもとに、キャリアモデルとの比較を行う。

\*上記をまとめたものをレポート課題として提出する。

課題；「仕事について考える」A4 4枚以上 40字×36行—手書き不可。